

関西国際空港漁業環境影響調査[※]

田野岡四郎・金盛 浩吉・渡辺勇二郎

この調査事業は関西国際空港の建設に伴って造成される空港護岸およびその周辺海域の漁業対策の可能性についての技術的検討（漁場班）、ならびに、大阪湾とその周辺海域の漁業に与える影響を把握するための漁業現況の実態調査（漁業班）を日本水産資源保護協会の委託により行ったものである。

1. 漁場班

昭和58～59年度に実施した調査結果を総合的に解析検討し、友ヶ島水道周辺における漁業の実態と増養殖技術対策についてとりまとめた。

2. 漁業班

和歌山県紀北沿岸海域（加太～日の岬）をメッシュ別に区分し、メッシュ内の全漁獲量から漁業種別（12種類）の漁獲量比と魚種別の漁獲量比を求め、順位づけを行い、主要漁業種類と主要魚種を明らかにした。

また、メッシュ内の漁業種類毎（小型機船底曳網、刺網、その他の釣、ひきなわ釣、機船船曳網）の漁獲量から魚種別漁獲量比を求め順位づけを行い、漁業種類毎の主要魚種を明らかにした。

※ 関西国際空港漁業環境影響調査費による。